

平成25年度 医療分野の「雇用の質」の向上のための研修会開催

大阪労働局労働基準部労働時間課

大阪労働局では、医療従事者の勤務環境の改善のため、病院関係団体や看護協会、関係行政機関による企画委員会を設置し、「雇用の質」の向上のための取組を進めています。

本年3月18日にこの企画委員会主催による『「雇用の質」の向上のための研修会』を大阪市中央区のドーンセンターで開催しました。研修会には、大阪府下の156病院（施設、法人）から307人の参加があり、参加者内訳は、理事長等の病院経営者、事務長等の労務管理部門や看護課長等の看護部門管理者の方々などでした。



開講にあたり、企画委員会を代表して行政より大阪労働局中沖剛局長、病院団体から一般社団法人大阪府医師会の齋田幸次理事、看護師団体から公益社団法人大阪府看護協会の伊藤ヒロコ会長がそれぞれ挨拶を行いました。

研修内容については、二部構成とし、第一部では、企画委員会実施の医療機関アンケート結果発表に続き、大阪労働局および大阪メンタルヘルス対策支援センターからそれぞれ、「労働基準法の基礎知識」及び「職場におけるメンタルヘルス対策の基本について」の説明を行いました。

第二部では、企画委員会において好事例の収集としてヒアリングを行った病院の中から、医師及び看護師等の勤務環境の改善にかかる取組事例の発表が行われました。

【事例発表病院と発表者】

- 1 医療法人正雅会「辻本病院」：星田朋子看護部長
- 2 社会医療法人大道会「森之宮病院」：宮井一郎副理事長
- 3 「大阪市立大学医学部附属病院」：上田真喜子教授

本研修会の開催にあたり、参加者の皆さんに協力を依頼した「受講者アンケート」の結果から、特に事例発表に関し、9割を超える方から「満足できた」「ほぼ満足できた」という回答が得られました。

今後におきましても、今回の研修会で寄せられました要望等を反映させていただき、さらに参加者のお役に立てる研修会の実施を目指すことといたしております。